

<研究代表者>

葭田貴子:東京工業大学工学院/准教授



<専門分野>

応用脳科学

<Webページ>

<http://www.mep.titech.ac.jp/~yoshidat/index.html>

<研究計画の特徴>

- 脳科学的知見に基づく, 法学や哲学における「主体」概念の検証と再構築
- 提案する社会制度の望ましさの実験的調査
- 「望ましい社会像」とその内部における価値基盤の創造

<研究目的・概要>

脳科学や人工知能技術の進展によってより鮮明になりつつある世代間衡平性や持続可能性が倫理的問題

- 社会と科学技術開発の進展の間にあるギャップ
- 現行の社会が前提している人間観の妥当性



脳科学, 工学, 法学, 哲学の専門家の協議



科学的にも社会的にも合意され、かつ先述のギャップを埋めるような社会基盤概念や価値観を提案. その提案を現行の社会に調和的に反映させる取り組みの雛形を作成.

<目標とする研究成果>

- (1)複数の主体による判断が社会的に望ましくない帰結を迎えるメカニズムに関する, 工学的解明と脳科学的測定方法の確立.
- (2)1を踏まえた望ましい社会像と, その基盤となる法制度の提案.
- (3)2に対する社会的合意の程度や望ましさの科学的・定量的検証結果の提示.

<将来展望>

本研究提案を反映した社会制度, 特に法制度の計画と日本における実施.